

事 務 連 絡

令和3年11月11日

都道府県

各 指定都市 障害福祉主管部局 御中

中 核 市

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

共生社会フォーラム in 滋賀の開催について

日頃より、障害保健福祉行政の適正な運営にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

共生社会フォーラムについては、「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」に係る周知及び受講者の推薦について（依頼）」（令和3年7月19日付厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長通知）においてお知らせしたところですが、今般、あらためて共生社会フォーラム in 滋賀のご案内を送付いたします。

貴自治体精神保健福祉担当部（局）担当者、管内市区町村及び福祉施設等関係機関への周知にご協力をお願いいたします。

※「コース① 一般参加」のみの参加も可です。

【事業担当者】

厚生労働省障害保健福祉部企画課

TEL：03-5253-1111（内線 3029）

【事業受託者】

公益財団法人 糸賀一雄記念財団事務局

TEL：077-567-1707／FAX：077-567-1708

e-mail：itoga@itogazaidan.jp

ウェブサイトからもお申込みいただけます ▶ <https://inclusive-society.net/>

【共生社会フォーラムin滋賀 全体フォーラム2021 参加申込書】

ご記入いただいた個人情報は、本事業以外の目的には使用いたしません。

法人名 (事業所名) または学校名	*コース①一般(基調講演等)の参加をご希望の方は、この欄は未記入でも結構です。		
連絡先	住所	〒	
	電話番号		FAX
	E-mail	@	

参加希望コース ※1	職名・肩書き／学部・学科・学年	参加者氏名
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修(中堅／学生・新任) ☐ ③ 実践報告・交流会		代表者(連絡窓口)
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修(中堅／学生・新任) ☐ ③ 実践報告・交流会		
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修(中堅／学生・新任) ☐ ③ 実践報告・交流会		
推薦欄 ※2	【第1分科会(中堅)の研修希望者がいる場合のみ】研修希望者は、福祉職・教員・行政職として おおむね5年以上 の現場経験を有し、福祉施設・事業所・学校・自治体等の職場において 職員を指導・助言する立場にある ことを保証し、また以下の理由で研修への参加を推薦します。 《推薦理由》 (推薦者)法人名等・役職・氏名	
	備考欄 ※情報保障やバリアフリー対応について配慮が必要な場合はこちらにお書き添えください。	
状況によりご希望とおりの対応ができない場合があります。その際はあらかじめご連絡いたしますので、ご了承ください。		

※1 参加希望コース欄は、「一般／研修」いずれかにチェックを入れ、研修希望者は「中堅／学生・新任」いずれかに○をつけてください。

※2 研修(第1分科会)参加希望者は、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦を得てください。

(公財)糸賀一雄記念財団 FAX: 077-567-1708 E-mail: itoga-oubo@itogazaidan.jp
〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内 TEL: 077-567-1707

【厚生労働省主催】 令和3年度 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

共生社会 フォーラム

in 滋賀〔全体フォーラム2021〕

福祉の思想に学び、実践し、語る人に

令和3年 **12月7日(火)～8日(水)**

会場: **滋賀大学 彦根キャンパス 講堂**

定員: **104名** / **参加無料【要申込】**

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、社会の一部には、障害を有する方に対する否定的な意見や偏見が一定数存在することを踏まえ、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるという理念等について学び、自らの実践につなげ、さらには所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み込んだフォーラムを実施します。

実施・申込・問合せ 公益財団法人 糸賀一雄記念財団

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内

TEL 077-567-1707 FAX 077-567-1708 E-mail itoga-oubo@itogazaidan.jp

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、手指消毒、検温へのご協力をお願いします。
発熱がある場合はご欠席ください。感染状況により、両日ともプログラムは変更になる場合があります。

プログラム

共生社会フォーラムin滋賀[全体フォーラム2021]は大きく3コースで構成されます。

【コース①】

表現活動・映像・シンポジウム

糸賀一雄記念賞音楽祭の映像や湖南ダンスカンパニーによるパフォーマンスの鑑賞、「糸賀一雄」の思想と実践についてまとめたNHK番組の視聴をします。また、今回は全体フォーラムとしてシンポジウムも開催します。

*1日目14:30までのプログラムにご参加いただきます

【コース②】

語り部等養成研修

福祉施設で職員を指導・助言する立場にあり共生社会の基本理念を語り広める「福祉支援語り部」を養成する第1分科会、福祉分野に関心を持つ学生や福祉職新任者の方を対象とする第2分科会に分かれてのグループワーク研修を行います。

*2日間すべてのプログラムにご参加いただきます

【コース③】

実践報告・交流会

これまで各ブロックで開催した研修の受講経験者とメンターによる実践報告・交流会を開催します。研修受講時に作成したアクションプラン等に基づき、職場や地域で行った実践例を情報交換し、各人の今後の展開について話し合います。

*1日目すべてのプログラムにご参加いただきます

スケジュール

▶▶ 1日目 令和3年12月7日(火) ※コース①は14:30まで

コース①・②・③対象	9:45 - 10:00	開会あいさつ	ラストメッセージ この子らを世の光に 日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一三らについて紹介。障害のある子どもたちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。
	10:00 - 10:20	表現活動(映像) 糸賀一雄記念賞第19回音楽祭	
	10:20 - 10:50	表現活動 湖南ダンスカンパニー	
	11:00 - 12:00	映像 NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に」	
	13:00 - 14:30	シンポジウム 「いのちに意味がある～共生社会フォーラムで何を大切にしてきたのか～」 シンポジスト 奥田 知志 氏・近藤 紀章 氏・田中正博 氏	
14:45 - 17:30 コース②対象	グループワーク研修① (第1分科会「福祉支援語り部」グループ/第2分科会「学生・新任者」グループ) いずれの分科会でも福祉の思想・普遍的価値の共有を目的として、基調講演や映像&トークプログラムを題材に、個人の内面に向き合うワークとグループディスカッションを行います。		14:45 - 16:00 コース③対象 実践報告・交流会 これまでのフォーラムにおけるコース②受講経験者とメンター経験者を対象に実施します。

▶▶ 2日目 令和3年12月8日(水) ※コース②の受講者のみ対象

9:30 - 12:00 コース②対象	グループワーク研修② (第1分科会「福祉支援語り部」グループ/第2分科会「学生・新任者」グループ) 第1分科会では、やまゆり園での事件を題材に、“生きる意味のない命がある”“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する意見などに返す言葉をもつためのワークを行います。第2分科会では、一般社団法人兵庫県相談支援ネットワークの代表理事でNHK Eテレ「バリバラ」の出演などで知られる玉木幸則氏とともに、“そもそも障害とはなんだろう?”をテーマに率直に語り合います。
13:00 - 15:30 コース②対象	グループワーク研修③ (第1分科会「福祉支援語り部」グループ/第2分科会「学生・新任者」グループ) 第1分科会ではグループワーク研修①や②を踏まえて、それぞれが自らの職場に戻って語りの場を持つことができるよう、メンターのサポートを受けながらアクションプランを作成します。第2分科会では、グループワーク研修②の議論を引き継ぎながら、玉木幸則氏とともに、“学生一人ひとりが抱える生きづらさ”を言葉にしながらか、“福祉=幸せの追求”や“そもそも人が生きること”について、向き合います。
15:30 - 16:00	全体共有・講評/まとめ・ふりかえり/閉会あいさつ

出演者プロフィール

糸賀一雄記念賞音楽祭

糸賀一雄記念賞の受賞者を県民で祝うことを目的に2002年スタート。「うた」、「打楽器演奏」、「ダンス・身体表現」



ワークショップに参加する人たちの表現は、様々な垣根を越えたボーダレスで魅力あふれるステージとして構成され、人が表現することの本質を投げかけてきた。第20回を滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで2022年2月に開催予定。

湖南ダンスカンパニー

滋賀県湖南圏域に住む障害のある人とプロのダンサー、福祉施設職員が、共に踊り舞台をつくるアーティスト集団。



その人の個性や習慣、ついはいみ出してしまう行動をすべてダンスとして肯定し、毎月2回のワークショップを「湖南音楽祭」と称する「本番」として積み重ね、毎年「糸賀一雄記念賞音楽祭」にて新作を発表。国内外で公演活動を行う。

シンポジストプロフィール

奥田 知志 氏 認定NPO法人抱樸 理事長

1963年滋賀県生まれ。東八幡キリスト教会牧師、NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長、(公財)共生地域創造財団代表理事、(一社)生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事、(一社)全国居住支援法人協議会共同代表。NHK「プロフェッショナル」出演。著書多数。

近藤 紀章 氏 NPO法人とんがるちから研究所 代表理事

滋賀大学環境総合研究センター客員研究員。2007年滋賀県立大学大学院環境科学研究科後期博士課程満期退学、地域づくり教育研究センター研究員、NPO法人五環生活代表理事を経て、2016年から現職。博士(経済学)。共生社会フォーラムの語り部養成研修の企画運営を担当。

田中 正博 氏 全国手をつなぐ育成会連合会 専務理事

1982年民間福祉団体このみ設立に参画。その後、東久留米市さいわい福祉センター、社会福祉法人を経て、2004～2008年国立のぞみの園。2010年障がい者制度改革推進会議総合福祉部会委員。2011年～全国手をつなぐ育成会連合会常務理事を経て現職。共生社会フォーラムでは語り部養成研修アドバイザー。

参加申込方法・定員

コース①・②は、ウェブサイトからお申し込みいただけます。

コース①のみ参加の「**一般参加**」とコース①・②

両方に参加する「**研修参加**」、いずれも事前の申込が必要です。ウェブサイト、もしくは裏面申込書の必要事項を記入の上、FAXまたはメールでお申し込みください。「**一般参加**」に参加条件はありませんが、「**研修参加**」は右の条件を満たす方が対象です。また、研修参加者は事前にお送りする資料を読んで研修に臨んでください。コース③の受講対象者には個別にご案内します。

<第1分科会>福祉支援語り部(中堅)

福祉職や教員および行政職としておおむね5年以上の現場経験を有し、職場で中堅職員、管理者等として職員を指導・助言する立場にある人。研修を経て共生社会の基本理念を職場内で実践し、語り広めることが期待できる人で、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦された人。

<第2分科会>学生・新任者

在籍する学部等を問わず、福祉に強く関心がある大学生等。または、福祉施設・事業所等に就職しておおむね数年以内の新任者や内定者。

定員: コース①60名/コース②24名(第1分科会16名/第2分科会8名)/コース③20名(他オンライン視聴多数)
申込受付期間: 令和3年11月1日(月)～11月30日(火) ※定員になり次第、締め切りとします。

会場アクセス

滋賀大学 彦根キャンパス 講堂

JR「彦根駅」から直行バスまたはタクシーで約10分
 滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号 TEL 0749-27-1005



会場に駐車場はありません。公共交通機関でご来場いただくか、お車でお越しの際は近隣の駐車場をご利用ください。

※新型コロナウイルス感染状況により、両日ともプログラム等は変更になる場合があります。